

2019年人気本（予約ベスト）

期間：2018年11月21日～2019年11月20日

図書名	著者	出版者	図書名	著者	出版者
1 希望の糸	東野圭吾	講談社	11 一切なりゆき	樹木希林	文藝春秋
2 落日	湊かなえ	角川春樹事務所	12 ノーサイド・ゲーム	池井戸潤	ダイヤモンド社
3 罪の轍	奥田英朗	新潮社	13 大家さんと僕	矢部太郎	新潮社
4 さよならの儀式	宮部みゆき	河出書房新社	13 樹木希林 120 の遺言	樹木希林	宝島社
5 そして、バトンは渡された	瀬尾まいこ	文藝春秋	13 死にゆく者の祈り	中山七里	新潮社
6 むらさきのスカートの女	今村夏子	朝日新聞出版	16 人間	又吉直樹	毎日新聞出版
7 I の悲劇	米澤穂信	文藝春秋	17 背中の蜘蛛	誉田哲也	双葉社
8 妻のトリセツ	黒川伊保子	講談社	18 検事の信義	柚月裕子	KADOKAWA
8 祝祭と予感	恩田陸	幻冬舎	18 58歳から日々を大切に小さく暮らす	ショコラ	すばる舎
10 渦	大島真寿美	文藝春秋	20 すぐ死ぬんだから	内館牧子	講談社

2019私が選んだ3冊

今年の出版の本や話題になった本から、図書館員が3冊選びました。

『「市」に立つ 定期市の民俗誌』

山本志乃／著（創元社）**民俗 384.3ヤ**

北は秋田から南は高知まで、現在も開催されている定期市を訪れて30年かけて調査した結果をまとめた本。学生ときは市に出店している農家に居候させてもらったり、同じ市に何度も通ううちに店出している人と親しくなったり、出店者の40年にわたる日記を借りて調査するなどディープな研究の労作である。

『戦国忍びの作法』

山本雄司／監修（G.B.）**忍術 789.8セ**

時代劇などに登場する忍者は、どこまでが本当か疑問に感じていたが、この本は信頼できる史料にあたり学術的に調べた結果をわかりやすく解説している。忍者は優れた身体能力を活かした肉体派と人を欺く頭脳派に分かれることや、火薬の知識のある忍者が明治以降花火師になったことなど初めて知ることが多い。

『星をかすめる風』

イ・ジョンミョン／著（論創社）**外国文学 929.1イ**

日本の大学に留学中に治安維持法違反で福岡刑務所に投獄され、27歳で獄死した韓国の詩人尹東柱（ユン・ドング）と彼を見守った看守の物語。看守の共謀を得て刑務所の地下の元拷問室に作った図書室、外部の少女との塀越しの風揚げ合戦、看護婦によるピアノ演奏など、絶望の中にもかすかな光が見える。（本館 可児）

『旅がなければ死んでいた』

坂田ミギー／著（ベストセラーズ）**地理 290.9サ**

三十路を超え、過労と失恋で瀕死の著者が世界一周の旅へ。モンゴルでは乗馬を習って少数民族に会いに行き、禁断の王国ムスタンではお王子様に謁見。自分と違う価値観で生きる人たちに出会い、幸せのかたちを見つけていきます。彼女の豪快なエピソードの数々に元気をもらえる一冊です。

『食べられる虫ハンドブック』

内山昭一／監修（自由国民社）**民俗 383.8カ**

最近、昆虫は環境にやさしく生産効率の良い食材として注目されているそうです。虫は気持ち悪くて害があると思われがちですが、視点を変えてぜひこの本を読んでみて下さい。実際に食べてみるかどうかは別として、身近な虫の栄養価やオススメの調理法も載っていて、楽しめますよ。

『ある一生』

ロバート・ゼーラー／著（新潮社）**外国文学 943.7ゼ**

1931年の冬のある日、雪山で助けたヤギ飼いは「死ぬときには氷の女に会おう」と言い残し、雪深い山奥へと戻ってしまう。その意味とは。アルプスの過酷な自然と共に生きた、一人の男の生涯を描いた作品です。沸き起こる心の葛藤と闘いながら、黙々と生きた彼の力強さに心を打たれます。（帷子分館 倉知）

『夢見る帝国図書館』

中島京子／著（文藝春秋）**小説 913.6カ**

図書館を主人公にした小説を書いてみては？と図書館で出会った、喜和子さんに言われた作家の私。喜和子さんの死から真剣に取り組むこととなります。帝国図書館の記憶と、とりまく人々との話が交錯しながら、喜和子さんの過去が解き明かされていきます。

『日本城郭奇談』

菅井靖雄／著（東洋出版）**民俗 388.1ヤ**

最近の歴史ブームで、お城巡りは人気ですね。この本はお城にまつわる、様々な伝承が集められています。それは美しい姫の話から妖怪にいたるまで。歴代城主が横死するという、岐阜城も掲載されています。奇談を知って訪ねる城は趣が違ってもいいかもしれません。

『原田マハの印象派物語』

原田マハ／著（新潮社）**芸術 723.0ハ**

モネ、モリゾとマネ、ドガ、ルノワールなどの印象派の画家の作品と、それにまつわる物語7編が、まるで原田マハの短編集のように綴られています。年表や画家の好んだ土地などの情報も掲載されていて、作家の人となりを感じながら、新たな視点で鑑賞できると思います。（本館 濱口）

『むらさきのスカートの女』

今村夏子／著（朝日新聞出版）**小説 913.6 ㍿**
 変わり者としてひそかに町の有名人になっている「むらさきのスカートの女」。その女になぜか不思議な愛着を持った、語り手である「わたし」による「むらさきのスカートの女」の観察記録のような作品です。リアリティがあるのに、アンリアリティなストーリー。ふしぎな魅力のある作品です。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ／著（新潮社）**教育 376.3 ㍿**
 イギリス在住で、日本人の母とアイルランド人の父を持つ優等生の「ぼく」が通い始めたのは、人種も貧富もごちゃまぜのイカした「元・底辺中学校」だった。人種差別、男女差別、貧富差別、LGBT に対する差別。「ぼく」のスクールライフを通して、著者がぶちあたる様々な現代社会の問題を軽やかに描いています。

『ロウソクの科学』

マイケル・ファラデー／作（角川書店）**化学 430 ㍿**
 今年のノーベル化学賞を受賞した吉野彰さんが、会見で化学に興味を持つきっかけとなったとお話された本です。ロウソクを題材にして、ロウソクが燃える時のさまざまな科学現象について解説しています。科学に興味のある方もそうでない方も、一度読んでみてはいかがでしょうか。（本館 篠田）

『ぱくりぱくられし』

木皿泉／著（紀伊国屋書店）**エッセイ 914.6 ㍿**
 夫婦で共同執筆している脚本家、小説家の木皿泉が、縄文猫・弥生犬の名で、対話しています。性格や物の見方・感じ方の違いが、二人のやりとりから窺えますが、「こうあらねばならない」というのがないというのは、共通しているそうです。対話のテーマとなる引用は、弥生犬が二人の作品から選んだそうです。

『ラグビーのルール 観戦&プレーで役に立つ!』

日本ラグビーフットボール協会／監修（実業之日本社）**スポーツ 783.4 ㍿**
 ワールドカップ日本代表の活躍で、ラグビーのにおかファンが増えたことが話題になりましたが、私もその一人です。公正・誠実な競技ルールを守ることによって、仲間を信頼し、自分の身体的能力を極限まで生かすことができるラグビー。ルールが常に見直されているのも、その品位を保つ為だそうです。

『知らないが大変 民法改正 Q&A』

中央総合法律事務所／著（ビジネス教育出版社）**社会 324.4 ㍿**
 約 120 年ぶりの抜本的な見直しと言われる改正民法（債権法関係）は、令和 2 年（2020 年）4 月 1 日から施行されます。一例としては、書面による金銭消費貸借は、金銭の交付前でも合意によって成立し、この書面には、電磁的記録も含まれるとあります。メールでのやりとりも、契約として有効なので、留意が必要です。（帷子分館 松浦）

『世にも美しき数学者たちの日常』 二宮敦人／著（幻冬舎）**数学 410.2 ㍿**

日本を代表する数学の探究者たちへの取材を通じ、数学の未知の世界に触れる本。数学の捉え方は千差万別だけれど、数に魅せられた人たちが、国や言語や時間すらも超えて数学の難問に立ち向かう。その姿は喜びに溢れている。数々の天才たちを魅了する数学ってすごい！

『ケーキの切れない非行少年たち』 宮口幸治／著（新潮社）**社会 368.7 ㍿**

認知力が弱くケーキを等分に切ることすらできない「境界知能」の人が人口の 10 数%もいると知り愕然とした。非行に走る根本原因が認知の問題にあることに着目し、早期発見・適切な支援により、いかに更生させ社会をより良くしていくのか具体的な対策を示す。

『平場の月』 朝倉かすみ／著（光文社）**小説 913.6 ㍿**

50 歳。華のない人生を生きてきた男女が出会い、人生の後半をともに歩む。ささやかな暮らしの中で交わされる言葉が印象的。互いを思い遣る気持ちや幸せがそこかしこに感じられる、穏やかで切ない大人の恋愛小説。（第 32 回山本周五郎賞）（帷子分館 磯道）

『この顔と生きるということ』

岩井建樹／著（朝日新聞出版）**実録 916 ㍿**
 外見に症状を持った子供がいるジャーナリストの著者が、見た目の悩みを持つ人々に会って話を聞き、どんな困難に直面し、それをどのように対処していったのかが、書かれています。また、外見の違いを個性や強みとして、人生を楽しむために生かしている方の話も書かれています。

『ティッシュで作るリアルな昆虫』

駒宮洋／著（ホビージャパン）**工芸 754.9 ㍿**
 蝶々・カブトムシ・バッタ・カマキリなど、ティッシュと身近な道具を使って、驚くほど本物そっくりな昆虫の作り方が、詳細に紹介されています。親子で作る夏休みの宿題に、大人の趣味にとおすすめ。虫好きには見るだけでも楽しいです。

『今の空から天気を予想できる本』

武田康男／著（緑書房）**地学 451.2 ㍿**
 空を見ただけで天気が予想できたら、楽しいし生活にも役に立つし便利だろうなあ。この本には、天気を予想する観察アドバイスを空の様子や雲の様子を写真使って具体的に説明されています。（本館 溝口）

『かがくのとものもと』

（福音館書店）**読書 019.5 ㍿**
 創刊 50 周年を迎えた、月刊『かがくのとも』。それは一体どのように作られているのか。過去の 601 作品すべての表紙とあらすじも紹介されています。科学というと難しく考えがちですが、実にさまざまな絵本があることに驚くはず。す。

『ちほ先生が見た岐阜人の不思議』

大藪千穂／著（岐阜新聞社）**社会 302.1 ㍿**
 食について、日本一のものについてなど、岐阜に関するいろいろなことが、著者の専門の家計の視点や統計から書かれています。岐阜は花火が多いことをご存じですか？そんな住んでいても知らなかった！という発見があるかもしれません。

『旅ドロップ』

江國香織／著（小学館）**エッセイ 914.6 ㍿**
 1 話 3 ページの、短い、旅のエッセイ集。すうっと著者の旅の思い出の世界に入り、ともに浸ることが出来ます。「平安時代の旅」「MAPS」など気になることも多々。ちょっとした合間に、気楽に開いて読むことができる 1 冊です。（帷子分館 長江）

平成から令和へ。
時代の節目とも言える年でした。
あなたは何が記憶に残っていますか？



『本を読めなくなった人のための読書論』 若松英輔／著（亜紀書房）[読書 019](#)

近頃「本が読めなくなった」と感じる方、いらっしゃいますか？それは内なる自分からのサインなので、無理をして読まなくてもいいけれど、読めない時は「本と共にある生活」という感覚が忘れられている時期だそうです。それを取り戻す最初の段階に最も便利で有効な場所が図書館であると書かれています。

『8050 問題の深層』 川北稔／著（NHK 出版）[社会 367.7](#)

近年、社会問題化している長期・高齢ひきこもりについての本です。長く社会的孤立を研究してきた専門家が、全国規模の調査や支援現場のフィールドワークをもとに事例を紹介しながら、問題の本質を明らかにすると共に、「親子共倒れ」から脱却する具体的方策を提言しています。

『後宮の鳥』 1～3 白川紺子／著（集英社）[小説 913.6](#)

後宮の奥深く、鳥妃（うひ）と呼ばれる妃が住んでいる。その妃は夜伽をすることのない特別な妃。そして、決して帝の前でひざまづくことのない妃。帝に敬語を使わず、ぞんざいな言葉で会話する鳥妃・寿雪と帝・高俊とのやり取りが小気味よいです。後宮で起きる様々な事件が寿雪の隠された真実に近づいていきます。

（本館 饒村）

『しかけは世界を変える』

松村真宏／著（東京ニュース通信社）[心理 141.7](#)
ごみ拾いをスポーツに変えて町をきれいにする「しかけ」、食べ終わった串で投票をする「しかけ」など、世界中の面白くて楽しい「しかけ」が紹介されています。意外な発想がゴミのポイ捨て対策や情報発信、エネルギー問題などの解決につながるのだなあと嘆賞しました。
*小学3年生くらいから読めます

『日本全国池さんぽ』

市原千尋／著（三オブックス）[地学 452.9](#)
可児市にも多くの「池」ありますが、池と沼と湖の違いをご存知ですか？池マニアの著者が日本全国 181 の池を8つの型に分類し紹介した「池図鑑」。岐阜県は河川環境楽園などが掲載されています。著者直筆の池スケッチも興味深く、見ていて楽しくなります。池畔の景色を眺めにふらりと旅に出かけたくなりました。

『FACTFULNESS 〈ファクトフルネス〉』

ハス・ロング他／著（日経 BP 社）[情報 002.7](#)
今年ビジネス書で最も話題になった本ではないでしょうか？人間は「思い込み」に囚われて考え、判断する傾向があります。この癖から脱却し、データから「ありのまま」の世界を読み取ることの重要性を本書は唱えています。自分の知識に頼らず、常に謙虚でニュートラルな姿勢でいるよう心掛けたいと思いました。

（桜ヶ丘分館 福井）

『絶望書店』

頭木弘樹／著（河出書房新社）[文学 908](#)
10 作からなるアンソロジーです。絶望とタイトルにあります。気持ちが塞ぐような物語はほとんどありません。何かをあきらめる気持ちに寄り添った物語たちです。古今東西の物語や、藤子・F・不二雄の漫画まであるので、お気に入りの一編が見つかるかもしれません。

『セミ』

ショーン・タン／著（河出書房新社）[芸術 726.6](#)
大人に向けた絵本です。緑のセミがサラリーマンになっています。17年も一生懸命に働いて、なにも見返りがありません。送別会も握手もない。家もお金もない。セミは高いビルの屋上へ向かいます…。トウクトウクトウクというセミの声はいったい何を言っているのでしょうか？最後のページまで見てみてください。

『〈レンタルなんもしない人〉というサービスをはじめます。』

レンタルなんもしない人／著（河出書房新社）[実録 916](#)
Twitter を通じて「なんもしませんが、人間一人を貸出します。」というサービスをはじめたレンタルなんもしない人。こんな一見ふざけたサービスに次々と依頼が舞い込みます。ただい、というサービスを通して著者が考えたこと、依頼する人の姿や関係性を通して、現代の人間関係や社会生活が見えてくる気がします。

（本館 橋本）

『ファーブル先生の昆虫教室 3』 奥本大三郎／文 やましたこうへい／絵（ポプラ社）[児童 486](#)

『朝日小学生新聞』連載に加筆し書籍化された本の、シリーズ第三巻。30年にわたってファーブルの昆虫記を翻訳された著者だからこそ、『昆虫記』より読みやすく、昆虫の生態が詳しく紹介されています。加えて可愛いイラストと駄洒落を交えながらの説明が層一層楽しくさせてくれます。

『世界で活躍する子の〈英語力〉の育て方』 船津徹／著（大和書房）[教育 379.9](#)

2020年の教育改革により、これからは、語学力のあるメンタルタフネスな外国人との競争社会になるため、英語力を身につけることはとても大切です。キャリア選択においても大きなアドバンテージを得ることができます。そのためどのようなことを学ぶといいかがとても具体的に書かれています。

『ざんねんないきもの事典 もっとおもしろい!進化のふしぎ』 今泉忠明／監修（高橋書店）[児童 486](#)

ざんねんないきもの事典の4弾。これまでと同じく生き物の多様性を紹介してくれています。監修の今泉さんは国際生物計画調査をされるなど動物のエキスパート。この本は、どのページからでも面白く読む事ができます。情報たっぷり、進化の歴史から分かりやすく説明してあり、子どもから大人まで楽しく読めます。

（桜ヶ丘分館 三浦）

『敏感すぎていつも不安』なのは「HSP」かもしれません 長沼睦雄／著（PHP 研究所）医学 493.7ナ

些細な刺激に敏感だったり傷つきやすかったり…。生きづらさを感じたことはありませんか？もしかしらあな
たも、敏感気質の人「HSP」かもしれません。この本では、HSP の人々に向けて、前向きに生きるヒントを提案
しています。

『発達障害児の偏食改善マニュアル』 藤井葉子／編著（中央法規）教育 378.87

療育センターで、発達障害児の偏食を実際に改善してきた著者。口の中が濡れる感覚が嫌で汁物を食べない子
には、汁と具材の皿を分けるなど、目からウロコのアイデア満載です。お子さんの偏食や好き嫌いに悩むお母さん必
見！

『ぼくを忘れないで』 ネイサン・ファーラー／著（東京創元社）外国文学 933.77

19歳の主人公マシューは、統合失調症。幼い頃に大好きな兄を亡くす壮絶な体験をし、そのショックから常に妄
想と現実の間を行ったり来たり。マシューが書いた文章という形式をとりながら、統合失調症患者の日常をリアル
に描いた小説です。（桜ヶ丘分館 堀）

『新章神様のカルテ』

夏川草介／著（小学館）小説 913.6ナ

信州にある「24時間 365日対応」の本庄病院に勤務
していた内科医の栗原一止は、より良い医師となるため
信濃大学医学部に入局する。大人気シリーズの舞台は地
域医療支援病院から大学病院へ。いろいろな問題に直面
しても、大学病院でも変わらず患者の立場を優先する一
止先生の姿は変わりません。

『自衛隊防災 BOOK 2』

マガジハウス／編集（マガジハウス）社会 369.3ジ

大雨、地震、強風など「災害」はいつどこで起こるか
分かりません。この本は、危機管理のプロフェッショナル
集団である、自衛隊が持つノウハウを、イラストなど
で分かりやすく紹介しています。火災やケガ、防災備品
の知識まで日常生活で役立つアイデアも満載で、取り入
れやすく参考になります。

『桃太郎は盗人なのか？ 「桃太郎」から考
える鬼の正体―』

倉持よつば／著（新日本出版社）児童 388ク

当時小学校5年生の倉持よつばさんが「図書館を使
った調べる学習コンクール」で文科大臣賞を受賞した研
究を書籍化したものです。ある本で桃太郎の行動に疑問
を感じ、桃太郎に関する本を200冊以上読み比べ、古
文書も読み、鬼の正体を解き明かしていきます。果たし
てよつばさんが導き出した答えとは？ （本館 樫山）

『家のネコと野生のネコ』

澤井聖一／著（エクスナレッジ）生物 489.5ナ

世界中の猫の歴史や生い立ち、野生ネコの分布など、
イエネコと野生のネコを網羅した図鑑ですが、子ネコの
写真が満載で、写真集としても楽しめる1冊になってい
ます。また、この本の表紙ですが写真かと思いきや……。
気になった方は是非手に取って確かめてみて下さい。

『犯罪学大図鑑』

DK社／編（三省堂）社会 368.6ハ

人類史上初の殺人は、43万年ほど前に起こったそう
です。被害者は撲殺され洞窟の穴に投げ込まれていまし
た。それから現在まで人は様々な犯罪をしてきました。
時代とともに変化していく闇の世界を覗いてみません
か？

『カッティング・エッジ』

ジェリー・ディーヴァー／著（文藝春秋）外国文学 933.7テ

リンカーン・ライムシリーズの14作目です。新しい
事件を待つライムのもとに、ダイヤモンド地区で起った
殺人事件の一報が入ります。サクスらと捜査を始め、
犯人を追い詰めてゆくのですが、どんでん返しに次ぐど
んでん返しで、読む者に息つく暇も与えず衝撃のラスト
へと繋がってゆきます。（帷子分館 真鍋）

『‘80s少女漫画ふろくコレクション』

ゆかしなもん／著（グラフィック社）芸術 726.1コ

懐かしい漫画の付録がいっぱい！1979～1989年の少
女雑誌全盛期。各誌のふろく合戦も華やかで目覚ましい
ものがありました。学校にふろくのノートを持って行き
ませんでしたか？女性なら、きっと知っているマンガや
ふろくがたくさんあって思わずタイムスリップするこ
と請け合いです。

『リアルな韓国語は、ことわざ慣用表現から学ぶ』

長友英子・荻野優子／著（池田書店）言語 829.1ナ

韓国との政情はさておき、ドラマは相変わらず人気で
す。韓国の慣用句も日本の慣用句によく似たものがいく
つかあるな、と思ったら語源は中国でした。なるほど。
比べて読むと面白いです。国が違うとここまで表現が違
うか、と思うものや、さっぱり意味がわからないものも。
「ネギキムチになる」ってわかります？

『カッコーの歌』

フランス・ハーディング／著（東京創元社）外国文学 933.7ハ

記憶を失った主人公の少女。その耳元で、「あと7日」
「あと6日」と声が囁きかける。冒頭から暗く謎めい
た雰囲気です。私は本当に私？なぜ妹は私を毛嫌いす
るの？謎はどんどん深まり、物語は一気に加速。途中でペ
ージをめくる手を止められない。後書きを書かれている
深緑野分氏の絶賛ぶりも納得の面白さです。（帷子分館 瀬尾）

『生き物の死にざま』

稲垣栄洋／著（草思社）生物 481.7イ

生き物は晩年をどのように生き、どのようにこの世を
去るのか。サケは子どもにとって安全な川の上流部で産
卵し、息絶える。死骸はプランクトンを発生させ、生ま
れたばかりの稚魚たちのエサとなる。生き物の死とは、
次の世代に引き継ぐためのものであり、潔い。「命」へ
の関心が深まる1冊。

『10代に語る平成史』

後藤兼次／著（岩波書店）児童 210コ

バブル期、消費税導入、沖縄の基地問題、自然災害な
ど「平成」を分かりやすく解説。生まれ育った平成の時
代を、政治、外交を中心に様々な出来事を通して振り返
り、未来にどうつなげていくのかを考える。コメンテ
ーターとしても活躍中の著者が語る現代史。「平成」から
「令和」へと移り変わった今年におすすめの本。

『むらさきのスカートの女』

今村夏子／著（朝日新聞出版）小説 913.6イ

近所で知らない人はいない「むらさきのスカートの
女」。主人公はストーカーのように「むらさきのスカ
ートの女」を観察、問題が起きそうな時にはこっそりと手
助けをする。読み進めるにつれ、主人公の異常さが明ら
かになっていき…。不思議な読後感を味わえる、2019
年芥川賞受賞作品。（桜ヶ丘分館 春日井）

『モノの単位』大事典』

ホームライフ取材班／編（青春出版社）**雑学 049モ**
西暦⇄昭和⇄平成の換算すぐできますか？噂の“老後の蓄え”必要額は？メガ、ギガ、テラバイトの容量とは？米1キロは何合でお茶碗何膳？…などなど、知っておくと便利な単位、気になる単位が盛りだくさん。かなりの分厚さですが、1頁に1情報で「ほおー」「へえ〜」とばらばらめくるのが楽しい1冊です。

『プラスチック・フリー生活』

ジャンル・プロモーション／著（NHK出版）**技術 519.7フ**
妻の妊娠を契機に、地球と人体とを汚染するプラスチックを生活から可能な限り排除することに取り組んだ著者夫妻。ここまでの徹底を実践できる気はしませんが、それは私たちの生活がプラスチックまみれであることの裏返しに他なりません。この本をきっかけに生活の中のプラスチックについて考えてみませんか。

『帝国ホテル建築物語』

植松三十里／著（PHP研究所）**小説 913.6ウ**
明治村にあるフランク・ロイド・ライト設計の帝国ホテル中央玄関、ご存知でしょうか？その建築当時の事情と、明治村に移築されるに至ったいきさつを描いた作品。腹の据わった男たちの覚悟と、人生を賭けた挑戦に胸が熱くなります。圧倒的な存在感を放つこの建物に、読後はあなたも会いに行きたくなるのでは…。

（本館 熊崎）

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』

ブレイディみかこ／著（新潮社）**教育 376.3フ**
英国の中学校に通い多種多様な人種と文化の中で成長していく息子と共に、差別やアイデンティティについて考えたエッセイです。軽快に語られていますが、無意識に差別をしているかもしれないとドキッとさせられる内容です。

『図書室』

岸政彦／著（新潮社）**小説 913.6ヤ**
雨の日曜日には、子どもの頃に通っていた図書室を思い出す。いつも居眠りしていたお年寄りたち、中庭から差し込む柔らかな光、そこで出会った男の子と世界の終わりについて二人で話しあった…不思議な静けさを感じる作品です。

『タイトル読本』

高橋輝次／編著（左右社）**エッセイ 914.6/4イ**
著名な作家も詩人も音楽家もタイトル決めは悩みの種。作家がほればれとするタイトル、題が決まらなると本文に移れない、いっそ無題としたい、没タイトルの数々などタイトルにまつわる悩ましいアンソロジーです。

（本館 林）

『戦国の山城を極める 厳選22城』

加藤理文、中井均／著（学研プラス）**技術 521.8カ**
可児市山城連絡協議会の特別顧問である先生方が、初心者の方にもわかるように山城の見方を紹介されています。残念ながら可児市の山城は掲載されていませんが、城郭研究のスペシャリストで三十年以上付き合いのある二人の先生が選ばれた山城なので各城の遺構や登城のアドバイス、歴史背景など魅力満載です。

『からだを整えるフルーツ in 紅茶』

薬日本堂／監修（大泉書店）**医療 498.5カ**
身近にあるフルーツを薬膳では「五臓の働きを助ける」とされていますが、体を冷やしてしまうため、体を温める紅茶と合わせて摂ることがおすすめです。効能がレシピと共に掲載されています。かぜ予防に紅茶が良いと言われているですが、季節のフルーツを入れてさらにパワーアップ！寒さを乗り切りましょう。

『希望はいつも当たり前で語られる』

白井明大／著（草思社）**エッセイ 914.6シ**
大学卒業後、司法浪人やコピーライターとして就職して以降、職を転々としながらも詩人として活動されている現在まで、様々な場面で助けられた“言葉”を綴ったエッセイです。使い方を間違えると傷つけたりすることもある“言葉”ですが、背中を押してくれるのも“言葉”です。温かい気持ちを持って使いたいです。

（本館 土谷）

『FACTFULNESS 〈ファクトフルネス〉』

ハンス・ロリング他／著（日経 BP 社）**情報 002.7フ**
「先進国」と「途上国」という分け方は、とつと過去のものだにご存知ですか？世界人口の75%は中間の国にいます。が、多くの人が勘違いしたままです。思い込みで囚われず事実を正しく見る方法を説いた本ですが、医師である著者が世界の国々で見てきた、生活スタイルの変化の話にも興味がわきます。

『人口減少社会のデザイン』

広井良典／著（東洋経済新報社）**社会 364.1ヒ**
人口減少・財政破綻などの危機が叫ばれる日本。2050年頃までに日本社会がたどる道筋を、AI を使って導き出した結果、8~10年後までに「都市集中型」か「地方分散型」か、選択する分岐点が来るそうです。そして選択後は、二度と戻れない。可児市のような地方都市はどうなるのか、気になるところです。

紙芝居『ちっちゃいこえ 「原爆の図」より』

アサー・ピナード／脚本（童心社）**紙芝居 C91/チ**
丸木俊・丸木位里夫妻の「原爆の図」の絵を使った紙芝居ができました。アメリカ人の著者は、日本の紙芝居文化に出会って夢中になり、戦前の「国策紙芝居」が戦意高揚に使われた歴史も学んで、戦争の愚かさを伝える紙芝居をいまの世に送り出しました。対象は小学校中学年から大人まで。

（本館 長谷川）

あなたの「2019年に私が読んだこの本！」をおしえてください！

1年間に読んだ本の中で、よかったものやお勧めしたいものを書いてください。

- ①タイトル ②著者名、出版社名 ③かんたんな内容紹介
- ④あなたのお名前(ペンネーム可)

- 出版年の古い本や図書館にない本でも OK です。
- 内容を確認のうえ、可児市立図書館ウェブサイトで紹介させていただきます。
- 本館・分館に備え付けの「私が読んだこの本！アンケート」用紙に書いて、アンケートボックスに入れてください。

●E-mailでも受付。①から④までもれなく書き、件名を「私が読んだこの本」として送信してください。宛先 tosyokan@city.kani.lg.jp



12月3日から
1月30日まで

あたらしく入った本

分類	書名	著者名	出版者名
情報・読書			
007.3/ト/	15秒から始めるウケるスマホ動画入門 超初心者だった著者が、YouTube 視聴者数上位 10%になったヒミツとは？ スマホの撮影・編集の基礎から、配信方法、視聴者を増やすコツまで、誰でもマネできるスマホ動画のテクニックを紹介する。	戸田覚／著	青春出版社
020.4/ホ/	文庫本は何冊積んだら倒れるか 「坊っちゃん」のしおりは何ページに挟まっているか。岩波文庫の緑ナンバーの生年は。作家の名前はどの文字から始まるのが多いか。本にまつわる役に立たないことをゆるく調査する。	堀井憲一郎／著	本の雑誌社
歴史・伝記			
210.6/オ/	100年前から見た21世紀の日本 働き方改革、政治家の資質低下、女性の活躍、なりすまし詐欺、読書離れ…。現代日本が抱える課題は、すでに100年前から議論されていた！今の日本と約100年前の日本を対比させながら、さまざまなテーマについて考える。	大倉幸宏／著	新評論
289.1/カ/	明智光秀は生きていた！ 本能寺の変において、織田信長を討った明智光秀。なぜ主君を討ったのか？そして、その後の運命は？光秀やその周辺の人々の不死伝説にも触れながら、本能寺の変のミステリーと光秀の最期に迫る。	川口素生／著	ベストブック
291.0/タ/	パワースポットはここです パワーがもらえるから「パワースポット」ではなく、「パワースポット」だからパワーがもらえる!? 千貫森、有馬療養温泉、神宮など、各地の「そこ」を訪ね感じた、日本人のココロの深層。	高橋秀実／著	新潮社
社会			
311.1/シ/	社会が変わるとはどういうことか？ かつて黙認された夫の暴力は今ではDVと呼ばれ犯罪となった。社会が変わるとはどういうことかを事実関係に即して考え、「ジェンダー」「まちづくり」「平和」について論じる。本づくりに参加した学生の意見も反映させる。	広岡守穂／編	有信堂高文社
369.2/キ/	認知症の人と一緒に作るアルバム自分史 アルバム自分史とは、写真と短いコメントだけで作る、アルバム形式の自分史。認知症の人と一緒にアルバム自分史を作る方法と、その活用法を紹介する。認知症緩和効果を高める聴き方も掲載。	北林陽児／著	翔泳社
385.6/マ/	DIY 葬儀ハンドブック 3万円以下で火葬までできる！身近な人を自らの手で送り出したい人に向けて、葬儀に必要な数々を紹介。ほか、DIYにも使える葬儀社活用時の知識や、葬儀のプロが知っている遺体を扱う特殊な技術なども収録する。	松本祐貴／著	駒草出版
自然科学・医学			
459/フ/	鉱物(いし)語り 鉱物の文化的・歴史的逸話から採集時のみやげ話まで、人と鉱物の織りなすエピソードを5つのテーマ、50のお話で紹介。250点以上の撮りおろし鉱物写真も収録する。	藤浦淳／著	創元社
490.1/シ/	この国で死ぬということ あなたは、どこで「旅立ちたい」ですか？その時、誰にそばにいてほしいですか？「看取り士会」を創設し、「死の文化」を伝える著者が、待ったなしの多死社会に問う、30年の集大成。看取り士たちの声も掲載。	柴田久美子／著	ミネルヴァ書房
494.8/7/	皮膚科専門医が見た!ざんねんなスキンケア 47 保湿系コスメの重ね塗りは意味がない、キャップでは紫外線は防げない、髪も日焼けするというのは誤解…。皮膚科診察室で遭遇した「ざんねんなスキンケア」を取り上げ、細胞科学が教える効果アップの正しい肌ケア法を紹介する。	安部正敏／著	学研プラス
技術・家政			
590.4/ヤ/	時を重ねて、自由に暮らす 子どもが独立してからのリフォーム、白髪になってからのおしゃれ、群れない人付き合い、50万円を元手に事業をスタート…。人生100年時代を楽しむ、暮らしと仕事、自分らしさのヒント集。	山中とみこ／著	エクスマレッジ

591/ヨ/	横山先生!老後までに2000万円ってほんとうに貯められますか? 横山光昭/著	KADOKAWA
	家計再生コンサルタントが、30~40代の家庭の現在の家計をもとに、老後資金はどうなるかをシミュレーション。年金制度について解説するとともに、将来の資産形成をしていくためのお金とのつきあい方をまとめる。	
596/ニ/	日本一おいしい煮もの	KADOKAWA
	TV番組「3分クッキング」でおなじみの4人の人気料理家による、ほっとするやさしい味わいの煮ものをまとめた一冊。読者が支持した人気煮もの、素材別絶品煮ものなど全108品のレシピを紹介しします。	
産業		
601.1/カ/	「地域の人」になるための8つのゆるい方法	河井孝仁/編著 彩流社
	顔パネ、ローカルアイドル、インスタグラム、廃墟、モニュメント…。「地域の人」になる、つまり地域デビューの道具である地域メディアについて考察する。地域独自のコンテンツ開発の可能性にも言及。	
686.2/ツ/	東海道線154駅	鼠入昌史/著 イカロス出版
	日本で最古の鉄道路線であり、古今東西の物流を支え続けてきている大動脈「東海道線」。日本の「中央停車場」東京駅、現代的なターミナル・京都駅など、東海線の全154駅を順に取り上げ、それぞれの歴史や個性を紹介する。	
芸術・演劇		
709.1/コ/	国宝ロストワールド	岡塚章子/著 小学館
	明治・大正・昭和に撮影された数ある国宝の中から、すでに失われてしまったもの、形が変わっているものなど、写真史を語るうえでとくに意義のある写真全33枚を紹介する。	
774.2/マ/	句と絵で綴る余白の時間(とき)	松本白鸚/著 春陽堂書店
	「いまこの瞬間」を感じるのが何よりも好きです。喜寿を迎えた二代目松本白鸚がこれまでに詠んだ句、綴ったエッセイ、直筆の書画をまとめる。金子兜太、千住博との対談も収録。	
趣味		
791/カ/	尾張の茶	神谷宗【チョウ】/著 淡交社
	古来、お茶好きの集うまちとして知られる尾張(名古屋を中心とした地域)。尾張ゆかりの茶室と茶人、茶道具を紹介するほか、名古屋の茶に関する美術館・美術商などの情報も盛り込み、茶どころとしての名古屋を解き明かす。	
797.2/ク/	もっと夢中になる!トランプの本	草場純/著 主婦の友社
	簡単なのにおもしろい! 愉快的ゲームはもちろん、マジックや占いまでみんなで楽しめるトランプ遊びを、「おすすめ人数」を明記し、イラストを用いてわかりやすく説明する。底知れない魅力に満ちあふれたトランプの入門書。	
日本文学—小説		
913.6/アサ/	グッドバイ	朝井まかて/著 朝日新聞出版
	長崎の油商・大浦屋の女あるじ、お希以(のちの大浦慶)は無鉄砲にも異国との茶葉交易に乗り出した。やがて明治という時代に漕ぎ出したお慶だが、思わぬ逆波が襲いかかる。	
913.6/アハ/	十三の海鳴り	安部龍太郎/著 集英社
	幕府に従うか、朝廷につくか。鎌倉末期の奥州、蝦夷。身の丈六尺三寸の青年・安藤新九郎がアイヌと力を合わせ切り拓く、真に進むべき道とは…。	
913.6/ウエ/	本意に非ず	上田秀人/著 文藝春秋
	主を討った明智光秀、極悪の者と忌み嫌われた松永久秀、父を死なせ弟を殺した伊達政宗。歴史の流れの中で、理想や志と裏腹な決意をせねばならなかった男たちの、後悔と無念の人生を描く。	
913.6/ウサ/	最果ての決闘者	逢坂剛/著 中央公論新社
	頭部に被弾し、記憶を失った新選組副長・土方歳三は〈内藤隼人〉と名を変え、時枝ゆらとともに米国西部へと渡る。過酷な旅路、先住民との戦闘…絶え間なく襲い来る危機から愛する者を守るか。	
913.6/ササ/	サンズイ	笹本稜平/著 光文社
	サンズイ(汚職)事案担当の刑事・園崎は、ある大物政治家のあっせん収賄容疑を追及していた。鍵を握る秘書の大久保から司法取引を持ちかけられるが、同時刻に妻と息子が轢き逃げされ…。	

913.6/シマ/	夜はおしまい ミスコンで無遠慮に価値をつけられる私。お金のために愛人業をする私。夫とはセックスしたくない私…。秘密を抱える神父・金井のもとを訪れる4人の女性。逃げ道のない女という性を抉るように描く。	島本理生／著	講談社
913.6/ツジ/	ツナグ 想い人の心得 一生に一度だけの死者との再会を叶える使者「ツナグ」。祖母から役目を引き継いで7年。歩美の元には、亡き人との面会を望む人々が、誰にも言えぬ想いを胸に秘めて訪れる…。	辻村深月／著	新潮社
913.6/ハラ/	風神雷神 上・下 20××年。京都国立博物館研究員の彩がマカオで目にしたのは「風神雷神」が描かれた西洋絵画と「俵屋宗達」の4文字で…。「風神雷神図屏風」を軸に繰り広げられる歴史アート小説。	原田マハ／著	PHP 研究所
913.6/ホン/	背中蜘蛛 東京・池袋の路上で男の刺殺体が発見された。捜査は難航するが、「あること」がきっかけになり捜査が急転。半年後、東京・新木場で爆殺傷事件が発生。再び「あること」が転換点となり容疑者が浮かび…。	菅田哲也／著	双葉社
913.6/チノ/	カエルの小指 詐欺師から足を洗い、実演販売士として生きる道を選んだ武沢竹夫。しかし謎めいた中学生・キョウがとんでもない依頼とともに現れたことで、ふたたびペテンの世界に戻ることに…。	道尾秀介／著	講談社
913.6/ムラ/	生命式 人口が急激に減り、人類は滅びるのでは、という不安感が世界を支配する時代。死んだ人間を食べながら、男女が受精相手を探す「生命式」が行われ…。表題作をはじめ、著者自身がセレクトした“脳を揺さぶる”全12編を収録。	村田沙耶香／著	河出書房新社
913.6/ユイ/	みちづれの猫 実家の猫に死期に近いことを母親から知らされ、私は東京から金沢に向かうが…。「ミヤアの通り道」をはじめ、猫に寄り添われ救われてきた女性たちを描く7編の短編集。	唯川恵／著	集英社

本館 1 階 展 示 の ご 案 内

■ 12 / 15 (日) まで ■

可児市人権啓発センター、人づくり課

合同人権展 12月4日から10日は人権週間です。人権とは自分が自分らしく生きるための権利。誰もが身近にある人権問題についてこの機会に考えてみませんか。

■ 12 / 18 (水) ~ 27 (金) ■

冬こそ体力づくり展

寒い冬こそ、体を動かして体力づくりをしましょう。筋トレやエクササイズ、いろいろな健康法や体力をつける食生活、メンタルヘルスの本もご紹介します。



たくさん借りに来てください！

年末年始にたくさん本を読んでいただけるよう、下記の期間、貸出冊数の上限を変更します。

期間：12月10日(火)～27日(金)

貸出冊数：1人15冊まで(うち視聴覚資料は7点まで)

この期間中は、貸出期間も通常の2週間より長くなります。

予約受付件数は7点までで変更ありません。



お得

開館時間 【本館】 平日 10:00～19:00、土日祝 10:00～17:00
【分館】 全日 9:00～17:00

休館日 毎週月曜日(12月2,9,16,23)
年末年始(12月28日～1月4日)

携帯用
サイト



「図書館だより」2019年12月号

発行：可児市立図書館 電話(0574)62-5120

資料検索・予約は <http://www.kani-lib.jp/> をどうぞご利用ください。

いよいよ2020年ですね！よいお年をお迎えください。